

世界をリードする マイコンバイブレーター 『専用発電機』2機種が登場!

三笠ニューズ

発行所
東京都千代田区猿樂町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京(3292)1411 大代表
テレックス 222-4607
郵便番号 101
PR旬報 年4回発行



ある日とつぜん春がきた! そんな感じの驚きを味わった今年の春である。三月なかば土曜日の晴天おだやかな朝、路傍の草むらに薄むらさきと純白のおびただしい花の群落を見つけた時のことだ。いぬふぐりとはこべ。それは土に這ったひとく小粒な花ではあるが、一斉に天に向けてカレンに咲き誇っていた。思わずしがみ込んで暫く見惚れてしまったのだ。

毎年めぐって来る春だが、こんな感動は久しぶりの様な気がする。ふしぎに新鮮な情

発表以来、マイコンバイブレーターは全国各地から「軽い、強い、手許振動がない、仕上がり面が綺麗だ」と、賞賛され続けております。しかも、50HZ/60HZ地域に関係なく、常にコンクリート打設に最適な振動数が得られるので、均一なコンクリート製品が製作されております。特に、コンクリート

の呼び強度四〇〇kg/cm²以上の高強度コンクリートの打設では、高周波バイブレーター等と比較し、優れていることが実証されております。(日本建築学会資料より)

また、いち早くマイコンバイブレーターを取り入れて下さったリース会社様からは、「一度使用したお客様からは、軽い上

来て、こぶしの花は天上に...。どの詩もどの詩も心を慈雨のように潤おすのである。そう。今の世の中、変化はあまりにも早く、多くの悪しきことが起こっては消えて、不毛の砂漠のように心を乾かしてしまふ。しつとりとした情緒を求めて春は詩心と呼び覚まさせてくれるのだらう。

朝な夕な今年の春を見つめて、忘れていた俳句歳時記なども机上に置く昨今である。機械屋のおやじが...などと笑うなかれ。これも人間の生理なのだから。

強く、使いやすい、しかも仕上がり面が良い」と、必ずマイコン指定で使用して頂いていま

そして、全国各地でマイコンバイブレーターの使用が増えるに従い、「専用発電機がぜひ欲しい」という要求が出されるようになってきました。そこで三笠では、今までのVH-32、42、52型用電源のVC-1(入力一〇〇V、二〇〇V用)、VC-2A(入力一〇〇V用)コン

VG-100型(一本取りマイコン発電機)は、高効率のマグネット発電体を採用することにより、エンジンを一ランク小型のクラス(EY-08)を搭載できた上、新開発の発光専用マイコン基盤により、小型軽量化が実現しました。勿論、発電体はマイコンの働きにより、過負荷から保護されていますし、万一のことを考え、ON-OFF

Fスイッチ兼用タイプのプロテクターを取り付けて、二重の保護を行っている上、発電体が正常に運転されている事を示すパイルロットランプも取り付けられています。また、発電体が運転時に振動しないように、二重防振機構を採用しました。その上、真夏でも使用に耐えられるように強制冷却機構を採用し、しかも重量21kgという超軽量発電機です。

VG-2000型(二本取りマイコン/単相交流発電機)は、マイコンバイブレーターが二本使用できる他、一〇〇V、二〇〇Vの一般電源も使用できる二役です。一〇〇Vの出力電圧計と、発電体プロテクターを取り付けております。また、5・5リットル増量タンクを搭載しているので連続約五時間運転でき、ボリュウムのあるコンクリート打設には最適な発電機です。本機も真夏の運転に耐えられるようにツインファン方式による強制空冷を行うなどの数々の新機構を取り入れた発電機です。

益々シリーズの充実したマイコンバイブレーターをぜひご使用下さい。

マイコンバイブレーターは世界で初めて、三笠独自の技術で完成されたもので、日本は元より、世界各国に特許出願中で、ドイツからは特許確認がおりるなど、世界で認められたバイブレーターになって参りました。

今年四月に三笠も参加してミューンで開催される世界最大の建設機械展示会「バーマ展」にはマイコンバイブレーターも出品いたします。

現在、本格的に輸出も始まり、各国から「軽い、強い、使いやすい」と絶賛されており、世界のコンクリートバイブレーターの主流となるよう努力し続ける「マイコンの三笠」にご期待下さい。

仕様

型 式	VG-100	VG-2000 (二役)	
発 電 仕 様	マイコン	マイコン	単相交流
出 力 (KVA)	0.7	1.4	2.0
電 圧 (V)	58	58	100
電 流 (A)	7.0	14	20
周 波 数 (Hz)	400	400	60
相 数	3	3	1
プラグ差込口 (口)	1	2	2

型 式	VG-100	VG-2000 (二役)
型 式	EY-08	EY-20
出 力 (PS)	2.0	3.5
回 転 数 (rpm)	4200	3600
燃料タンク容量 (L)	1.5	5.5
寸法重量	全 長 (mm)	597
	全 幅 (mm)	432
	全 高 (mm)	507
	全 重 量 (kg)	45

WOC '92 USA in ATLANTA



えない場所です。しかし、ここは「風と共に去りぬ」の舞台として映画ファンには御馴染みの所であり、またゴルフファンにとってもあのマスターズ・ゴルフ・トーナメントで有名なオーガスタ(アトランタから車で4時間程)の在る州と言えはがぜん興味を湧く所だと思えます。因みに一九九六年のオリンピックはここアトランタで開催されますのでぜひ応援と観光をかねて訪れてみて下さい。ただし南部料理は日本人の口には合わないので余りお勧めできませんが……

さて、不景気の真っ直中に有る米国での今年の「WOC USA '92」展ですが全体的に見て私の想像以上に活況を呈しておりました。なかでも三笠の米国総代理店であるマルティクイップ社は今回の展示会でも一〇本の指に入るほどの展示スペースを確保しホワイトマンのパワートロウエルを中心に三笠の新型搭乗型ローラーを始め数々の新製品を展示して大いに気を吐いていました。

建築仕上フォーラム開催

さる十二月十二日(木)から十五日(日)の四日間、第三回建築仕上フォーラムが幕張メッセで開催され、三笠産業は一九九〇年の第二回に引き続きコンクリート仕上げ機械ホワイトマンパワートロウエルを中心に展示いたしました。



今回も前回同様「二十一世紀の家づくり・街づくり」というテーマのもとで最新の建築仕上材料、工法、機械・機器の紹介を行うフォーラムと三日間計五部にわたるシンポジウムが開催されました。

展示会部門は、メッセ国際展示場の屋内第四、第五、第六ホールを使用し、出展者数は前回だけあり、最新の仕上材料と技術を駆使した色彩豊かな展示やデモンストレーションが数多く見られ、華やかな雰囲気にも包まれていました。

また、隣接の国際会議場では各セッション四百名の定員で計五セッションのシンポジウムが開催されました。各セッションは「高齢者施設の今後を考える」といった社会構造の変化に対応した取組みや仕上材料の安全性の面から「人にやさしい建築仕上」を取り上げたもの等、いずれも現在から来世を展望したテーマのもと各分野の著名人による討議が行われました。

三笠産業は、展示部門にホワイトマンパワートロウエルを中心としてマイコンバイブレーター、ランマー、カッター等を出展いたしました。省力化仕上機械としての各種パワートロウエルが特に注目をいただきました。

おかげさまで三笠の小間にも多数の方のご来場をいただき、盛況のうちに閉幕いたしました。運営委員会より報告によれば今回四日間のフォーラム入場者数は前回は上回る十四万七千人を数え、当フォーラムに対する期待と関心の高さを裏付けた結果でありました。最後に紙面をお借りしまして、ご来場いただきまして皆様並びにフォーラム参加に当たってご尽力いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

菊池記

'92 オープニングフェア開催

—三笠産業55周年記念—

北海道に於いても早春を感じさせる三月十三日、十四日の両日、三笠産業(株)札幌営業所に於いて北海道三笠レンタル会協賛による'92 オープニングフェアを開催いたしました。本年は三笠産業創立五十五周年にあたるため五十五周年記念と銘うって盛大に行われました。

当日は、札幌近郊のほか、旭川、函館等、遠路はるばる大勢のお客様においで頂き、五十五周年のフェアに相応しいものになりました。

会場には一昨年より発売を始めた世界初のコンピューター制御のマイコンバイブレーターにエンジンジェネレーター、VG-100、VG-2000をはじめVH-W62、72の大型マイコンバイブレーターを加え、パリエーションも豊富になり、本格的なマイコンバイブレーター時代の到来を感じさせました。また、基礎転圧をタンピングランマーから、一層スピーディにするMVH-302DS油圧前後進コンパクター、お騒が



せしませんが、キャッチフレーズで発売したMT-68SGK防音ランマーに続く第二弾、MC-D-04SGK防音カッター等、今年も三笠の新製品の豊富さと信頼性に対してお客様も満足された様子でした。

昨年、ご好評を博した無料ゴルフレッスンも、今年は女子プロを迎えてのレッスンとなり、両日共にお客様が順番待ちするほどでした。

恒例になりました樽入りの生ビールが用意され、焼き鳥や焼きそば、うどん等を食べながら商談に技術指導にと大いに賑わい、その場で数多くのご成約を頂き、誠に大盛況のフェアとなりました。これも北海道三笠レンタル会会員の方をはじめ、代理店の方、ユーザーの皆様の御陰と深く感謝申し上げます。来年も又より一層皆様に喜んで

頂けるフェアにしたいと思っておりますので一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

大沢記

北海道三笠レンタル会

第六期を迎えた北海道三笠レンタル会では、本年度事業計画の一環として、会員各社に対し二月十七日より二十九日まで技術研修会を行った。

この研修会では、平素レンタル機として取り扱っている三笠製品に、誠心で技術指導、修理方法、技術指導など、メンテナンスを中心とした講義を行い、機械に少しのメンテナンスを施すことにより効率良く、又長期間ご使用頂くことを目的とした。



北海道は広大な地域であるため、一か所にお集まり頂いての研修会では時間的な問題があり、意向があってもなかなか出席できないとの意見もあり、今回道内六か所(函館、苫小牧、札幌、帯広、北見、旭川)の会場を設けての開催となった。また、冬期の北海道は業務の繁忙をきわめることは比較的に少ないので、この時期を利用し、レンタル会会員各社の方を初めとし、各地域の指定サービス

工場の方々も含め、六会場合わせて百五十名強の大勢の出席を数えた。

講師陣も弊社技術研究所、技術サービス課始め、ロビンエンジンで御馴染みの富士重工業(株)、富士ロビン(株)の方々の応援を頂き、万全のスタッフを敷き、多岐にわたる質問に対しても全てご納得頂ける研修会であった。質問内容に於いては、各会場共エンジン、又電気関係の初歩的なことから、高度な質問まで多



一月も終わろうとするある日、社長が一通の手紙を手に総務部の部屋に現れた。こんな手紙を貰ったよ、こういうユーザーさんがいてくれるというところは、一カー冥利に尽きるね」と、その手紙を記者の机の上に置いた。晩酌の気分に乗って書いたという文書は流麗、達筆な文字が並んでいる。

お手紙を下さったのは浜松市で土建業を営む橋本俊和さん。夕飯前のアルコールに乗り、一筆書きとなりました。失礼をお許し下さい。

エンジンがなぜ振動が起き、キャブが光るタンクを二度交換。キャブレーターも二つ目。でもグリスを呉れ、防雨防寒して子供家族のようにつき合えば、判ってくれるものです。いざの時御法度承知で基礎杭打ち込みにも目一杯アクセルをくれたものです。でも笑ってくれました。バイブレーターも二台が同年代で元気です。(ついでに書けばプレートコンパクターも……)

心うたれるこのお便りに、感謝しご挨拶をと橋本建業さんをお訪ねしましたが、その模様は次号で報告の予定です。

輦圧が始まれば恰好もくそもないが、独立するに当たり、それでも近代化を目指し、当時田舎のほうでは主流の木ダコを横目に、それこそ清水の舞台から……の想いで、今と変わらない十数万円を投じて購入したものです。

(ちなみに独立前退社時の給与は二万三千円で、これでも地方では上位だったのです)

同じ頃生まれた息子が二十二歳。同年代です。

ようやく飽食の時代とやうに気付いた自動車メーカーが、モデルチェンジを長サイクルにしたとの新聞記事を読み、失礼ながら酔心でなにか文章を書いて見たかったのです……

彩であり、特に最近徐々にレンタル機としてご採用が多くなってきたマイコンバイブレーターに関する事柄の質問が数多く聞かれた。これは業界に於いても新製品である為、従来の高周波バイブレーターとの違いを丹念に説明し、ご納得と称賛を頂いた。

各会場共終了後、御出席の皆様より、有意義な研修会とお褒めの言葉を頂いたが、何分にも初めての試みであり、来年度も今回の実施内容を検討材料とし、尚一層充実した勉強会を、北海道三笠レンタル会として催したく考えております。

尚、今回ご出席頂きました皆様には貴重なお時間を頂きありがとうございます。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。共に、この勉強会の成果が多少なりともお仕事にお役に立てば幸いです。

北海道三笠レンタル会 事務局 東山記



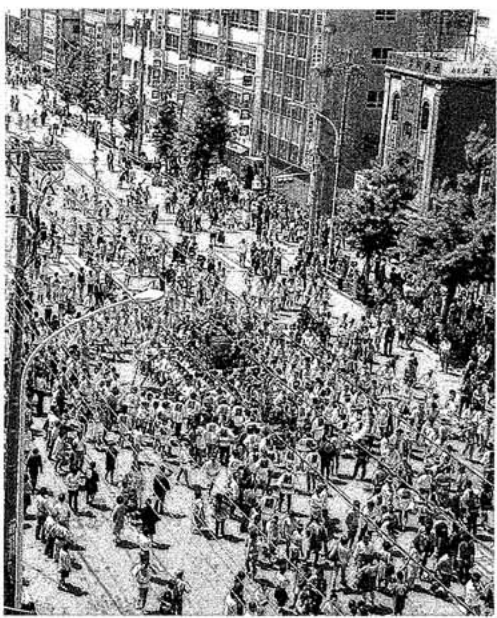
第 2 回

お茶の水、神田川の土手に緑がよみがえると見るやアツという間の春らんまんである。錦華公園のサクラも年ごとに変わらぬ春の情趣を猿楽町界隈に漂わせる。街路樹が芽ぶき、道行く人々も何かウキウキした足どりだが、仕事は相変わらず多忙。

春は忘れ物が多くなるというのとおりで、カメラバッグを網棚に置き忘れたと青くなって駅員に訴えている姿を見た。こちらにも居眠りで乗り過ぎの駅で見た風景。こうした季節になると「こじしは何ドシカ？」と聞かれても即答できない。猿の演芸で笑ったお正月番組も忘却の彼方なのだ。「猿さる巷談」も古くてカビが生えたようだ。

どんなに古くなっても忘れられない昔話がある。信州南アルプス山麓の昔がたりで、教科書にも載った哀れな孝行物語り。地元では先年これを絵本にして出版したとも聞いたが実物は見たことがない。したがって子供の頃の聞き伝えのまま再話してみよう。

むかし入野谷に一人の猟師が



江戸の華「神田祭」



またた俺の猟師小屋まで探し当て、この夜ふけに忍び込んで、温めたり傷をなめたりして生き返らせようとするのか。猟師はジツと見ているうちに涙が訳もなく流れ続けた。畜生ながら親子の情の深さ、強さ。考えれば考えるほど猿が不憫で哀しく思われる。いつの間にか猟師は親子の猿に向って両手を合わせ、深い悔恨にひれ伏していた。

わが身の生業がすっかり嫌になつた猟師は夜明けと同時に鉄砲を捨て殺生の猿をふつり止めてしまった、という話。

これは実際にあった話で、この猟師の家は今では江島流罪で知られる伊那の高遠観光のオプショナルコースにもなっている由である。教科書に採録されたのは大正時代というから、明治生まれの古老たちの修身読本だったのだから、悔い改めなさいと教諭する宗教者の言葉よりも、はるかに大きな効力をもっていた冬の一夜の昔話。

猿の教は数々あるが、日光東照宮の彫刻で知られる三猿もその一つだ。こうした精神訓話のほか、もっと実利の上で人間が猿から学んだ事柄は多いのではないだろうか。

日本三大奇橋に挙げられている山梨県大月市の「猿橋」は、建築力学上の画期的発見といわれ、そのヒントを与えてくれた猿の名を冠して今も昔通りの作

法で補修し保存している。両岸の崖からハネ木を幾段も重ねて突き出し、橋床を受けるといって構造である。

工場とか作業現場で必ず見られるモンキースパナ、モンキイレチは、あれは何故モンキの名が付けられているのだろうか。機械器具等に猿環（さるかん）と呼ぶ空廻りする金属環があったように記憶するが、これも命名由来がありそう。

神田猿楽町と同じく渋谷区にも猿楽町がある。この方はマインナーであり知られない。猿の字のつく地名は各地にどっさりある。東京都内では浅草に猿若町があったが現在は改名されて浅草六丁目と呼ばれる。これは天保改革のとき風俗取締りに当って江戸三座（猿若三座）を浅草聖天町に移して猿若町と名付けたものと辞書にいう。

こうしてみると消えゆく江戸の名残りの中で猿楽町は下町の伝統・貫禄を誇ってなお健在といえる。神田を愛する人々が大切にしているからだろうともいえるだろう。

神田のタウン誌だったかも知れないが、神田は居よいが住みにくい、という文句を見たことがある。どうしてだろう？と読んでいくと、隣り近所の付き合いがよくて居心地は素晴らしいのだが、ちよつと必要な品物を買う段になるとデパートまで行くかなくちやならない。だから住みにくいのだそう。そういえば神田に老舗デパートは一つもなかった。

前号で猿楽町は神田明神の祭りに密着した芸能集団の町だったのではないかと大胆な独断を述べさせてもらったが、神田の（とび）職は今も成田不動に参詣しないというジンクスがあるとか。これは独断ではなくホントらしい。神田明神の祭神はオオナムチ、スクナヒコナの出雲神に加えて関東の風雲児、

平将門を祀っている。将門の乱の時、朝廷は高僧を成田に派遣して将門調伏の祈禱をさせた。そんなイマイマシ場所へなんか、誰がお参りするものか！と神田っ子の心意気。江戸っ子の町人は向こうっ気が強くて在野精神も旺盛。「二本差し（武士）が怖くて目利しが食えるか」と権力者への反骨を示した。架空の人物かもしれないが講談の一心太助も今の主婦の友社あたりに住んでいたとか。

われらの神田猿楽町。ここにもそんな江戸っ子気質の古老が探せば生きていそうである。

いまふと思いついたが昔読んだ子供絵本「シンドバットの冒険」に世にもおそろしい「猿の島」の話があった。幾番目の冒険の船旅だったか、アラビヤ海のどこかで難破をまぬがれたシンドバットが上陸した猿の島で見たものは、毎夕食に船員をひとりずつ丸焼きにしてペロリと食べてしまう怪物の猿だった。

この島にいくかぎり必らずやってくる運命を知ったシンドバットは生き残りの仲間とともに決死の脱出することになり、難破船の材木を使って筏を組み立てた。逃亡用意が出来ると、どうしても復讐うがしたくな怪物猿が眠っているところへ忍びよってその眼に杭棒を突き差した。ギャーッと悲鳴を立てたのを聞きつけた仲間の猿がシンドバット達を追いかける。必至で漕いで逃げる筏に向けて怪物猿が岸から大岩を投げつけると、つぎつぎに筏は破壊されてしまう。シンドバットの筏だけは辛うじて石の届かない所まで逃げることに成功！

映画「猿の惑星」よりも強烈に心に残る子供の頃の絵本である。

とりとめない「猿さる巷談」になってしまったが、次回はいま面目に猿楽町めぐりをしてみよう。

日頃どんな仕事をしていま

すか？

茨城県全県の営業を担当しています。お得意先へ商品説明や技術指導を行う他、直接ユザーさんの現場へ機械を持ち込んでデモンストレーションを行い、いかにお客様のニーズに合った商品であるか説明することもあります。

いま最も関心を持っていることはなんですか？

それは健康です。日常生活において健康が第一です。そして、健康には二つあると思います。まず一つは身体の健康。これは日頃スポーツや基礎トレーニングを持続すれば

可能です。もう一つは心の健康です。私にはアルコール、特にビールが一番です。今は一番に搾ったビールを愛飲して心の健康を保つようになっています。

お客様に一言どうぞ

入社して十年が過ぎました。初めて営業に回って買って頂いた商品は今でも活躍しているでしょうか？

良い仕事をするには様々な条件が必要ですが現場に適した良い機械を選ばれることも重要なことです。どんな現場でも活躍する三笠の製品をお使い下さい。必ず……

三笠クイズ VOL. 5

ア	1		2		エ
A	B	C			
	イ	4			
3	ウ			エ	
	オ	5			
	カ		D		6

ヒント

ヨコのカギ

ア. 野山を歩き回ること

イ. 看護婦

ウ. 路線〇〇

エ. エビで〇〇を釣る

オ. アジの〇〇〇

カ. 誕生日にはこれにろうそくを立てます

タテのカギ

A. 葉の〇〇〇〇〇

B. キリストの復活を祝う日

C. 天ぷらにしておいしい魚

D. 〇〇一髪

E. エンジンの無い飛行機

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には、抽選のうえ10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 〒101 東京都千代田区猿楽町1-4-3 三笠産業株式会社 「三笠ニュース」編集室

●締切り 1992年4月30日(休)消印有効

VOL.4の答えは「コママワシ」でした次の10名様に図書券をお送りしました。

小出麻千子様(静岡市) 富沢初江様(藤岡市) 高橋福美様(南安曇郡) 佐野坂広雄様(上水内郡) 遊佐利恵様(東京都) 山本理様(帯広市) 津田由美子様(原町市) 矢部孝子様(田村郡) 佐々木ひろ子様(佐久市) 杉山よね子様(掛川市)

氏名 石丸 賢介

生年月日 昭和46年 2月28日

出身地 新潟県

所属 営業サービス部 サービス課

家族 独身

日頃どんな仕事をしていま

すか？

主に三笠製品の修理を行っています。春日部の部品サービスセンターでの仕事のほか全国各地のお客様のところへサービスキャラバンとして出張修理に出掛けることもあります。今は大好評のマイコンパイプレーターについて特訓中です。

いま最も関心を持っていることはなんですか？

スキーが好きです。新潟県出身なのでうまいと思われがちですが、とんでもないです。シーズンに何回か行きますが、

お客様の疑問などに答えられないことの多い未熟な私ですがこれからもっと勉強し三笠のサービスマンとして恥ずかしくないよう努力しますので宜しくお願いします。

なかなか上達しません。今シーズンには群馬のスキー場だけだったので、来シーズンはいろんなところにチャレンジしたいと思っています。

お客様に一言どうぞ

これからもどんどんお客様の所へサービスキャラバンとして行かせて頂きたいと思っています。

氏名 飯島 寿通

生年月日 昭和35年 1月9日

出身地 東京都

所属 第二営業部 北関東営業課

家族 妻

日頃どんな仕事をしていま

すか？

茨城県全県の営業を担当しています。お得意先へ商品説明や技術指導を行う他、直接ユザーさんの現場へ機械を持ち込んでデモンストレーションを行い、いかにお客様のニーズに合った商品であるか説明することもあります。

いま最も関心を持っていることはなんですか？

それは健康です。日常生活において健康が第一です。そして、健康には二つあると思います。まず一つは身体の健康。これは日頃スポーツや基礎トレーニングを持続すれば

可能です。もう一つは心の健康です。私にはアルコール、特にビールが一番です。今は一番に搾ったビールを愛飲して心の健康を保つようになっています。

お客様に一言どうぞ

入社して十年が過ぎました。初めて営業に回って買って頂いた商品は今でも活躍しているでしょうか？

良い仕事をするには様々な条件が必要ですが現場に適した良い機械を選ばれることも重要なことです。どんな現場でも活躍する三笠の製品をお使い下さい。必ず……

